

WEEKLY REPORT No.1341

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1570回例会

ロータリー親睦活動月間  
平成28年6月9日(木)  
新人会員卓話・  
地区国際奉仕委員活動報告  
於 名古屋東急ホテル  
会員 56名

出席計算数 48名中39名出席  
出席率 81・25%  
前及前回出席率 100%

例会プログラム

★岩崎R財団米山記念奨学委員長  
・元米山奨学生 柯 隆さん  
書籍出版について

★卓話

「ロータリーソング  
「われらひまわり」

指揮者 前田 隆久  
ピアノ伴奏 富板 玲子

「ニコボックス」

荒井美佳さん、堀江英弥さん、卓  
話宜しくお願いたします。  
田崎 雅三・酒井 修  
丹下 富博・岡村 隆徳  
卓話、期待して。春日井和良  
本日卓話させていただきます

誕生月です。

私と妻の誕生月です。鬼頭 茂成  
アモーシの誕生月です。

梅雨に入りました。体調には気を  
つけよう。  
木村 光徳  
小笠原和俊

会長挨拶 (歴代会長挨拶)

30代会長(13-14年度)  
木村 光徳

創業35年になりました。  
山口 正孝  
荒井さんと内藤さんいつもお世話  
なっています。 尾上 昇



田崎会長から歴代会長経験者に  
1回ずつ会長に代わって挨拶を、  
という依頼があった時に未だ例の  
無かった事なので、何か特別な意  
図があるのだと思う、どんな  
話をさせて頂ければ良いのですか  
と訊ねたところ、会長任期が終っ  
て今任期中に、やりたかったけど  
出来なかった事、ああすれば良か  
ったなあと思っている事等を話し  
てくれた彼の話を頂きましたの  
で、特に任期中にやっておくべき  
であったと強く思っている事があ  
りましたので、その事について話  
しをさせて頂きます。

まずは本題に入る前の前段とし  
て、全ての会・団体は、その大小  
を問わずコミュニケーションですの  
で、

永くスムーズに運営される為には  
司法・立法・行政の機能が無けれ  
ば、それは叶わないと思います。  
その観点から我々名古屋大須R  
Cを觀た時に、行政の部分は毎年  
他のRCより多くの意義ある事業  
・活動がなされているので全く問  
題ないと思います。次に司法の機  
能ですが、幸いに大きなトラブル  
が起きる事は稀で、30数年間何と  
か乗り越える事が出来たのだと思  
います。

最後に一番問題があるのが立法  
の部分です。単年度事業制の弱点  
の部分で、本来定期的に見直す必  
要がある、我がクラブの定款・細  
則のチェックまで気が回っていない  
のが実情です。3年に1度、R  
I規定審議会で改訂される標準R  
C定款に合わせて改定されるべき名  
古屋大須RC定款が、改訂されず  
に永年放置されていた事実からも  
それは明白です。

高木会長年度にやっとその作業  
は終わりましたが、それは改定され  
た標準RC定款に合せて、改定さ  
れた部分、追加項目等を大須RC  
の定款に落とし込んで乖離のないよ  
うに、整えただけのものですよ。  
今それを見直してみると、定款は  
ザックリと書かれている文章も多  
く、具体的な細かい方法等が書か  
れていない部分も沢山有る様に感  
じます。そしてその様な部分を補  
う細則も足りない箇所が有り、又

その内容も何十年も、改訂されて  
いない項目が多く、実情に合っ  
ていない部分、合理性・民主性に欠  
ける内容も一部有る様に感じます。  
もちろん最初に改訂有りきとい  
う事ではありません。

今年度は一ヶ月足らずで終っ  
てしまいますので無理だと思いま  
すが、来年度は是非、より良いク  
ラブにする為にこの部分にも取り  
組んで頂けたら幸いです。

「新人会員卓話」

「超高齢社会で自分らしく  
老いる為に美容の役割」

美容福祉士という新たな価値

荒井 美佳



今わが  
国は、皆  
様も周知  
の通り超  
高齢社会  
と呼ばれ  
、介護分野  
における  
危険が取り  
立たされて  
おります。  
私はエヌ  
ティエシヤ  
ンとして  
、長年介護  
福祉施設で  
美容ボラ  
ンティアを  
してまいり  
ました。そ  
の中から、  
何か高齢  
者の方のた  
めにお手  
伝いできる  
ことはない  
かと常に  
模索してい  
るうちに、  
次のよう  
な問題点  
に気がま  
した。  
1点目は、  
高齢者が  
老いを理由  
に、身た  
しなみを  
清潔に保  
つこと

や身綺麗にするという「美容」から遠ざけられてしまつたという現実です。もちろん介護が必要であるために施設へ入居するのですが、その反面、「美容」という行為から強制的に遠ざけられてしまつたのもまた現実です。

この点目は、ボランティアの限界です。ボランティアとは無報酬で思いやりの心で成り立つ行為です。従つて「美容」を題材にリクリエーションを行うこと自体は、多くの方に興味を持って頂くことができそうですが、その反面、「いつでもやめられる」状況でありサービスの提供も受ける側も「責任感」といふ点での意識レベルが必然的に低くなり、その結果、高齢者の期待を裏切ったり、逆に過剰に期待をさせてしまい、リラクゼーションと心の豊かさを目的とした行為とかけ離れてしまつリスクさえあります。

この点目は、ボランティアをはじめめとした、専門的な技術や知識のない者が、「美容」を題材に扱うことへのリスクです。繰り返しになりますが、「美容」といふ題材に興味を持って楽しんで頂ける方は少ないでしょう、非常に多いです。後ほど詳しく説明いたしますが、ハンドマッサージやフットケアをはじめとした、身体に直接触れて施術を行うことへのメリットは医学的に証明されているものの、

非常に良い効果があるのも事実です。しかし、介護についての正しい知識と技術を有しているだけではなく、美容についての正しい知識と技術を持ち合わせた専門性を有した者が行わなければ、効果的なものであつても、方法によっては途端に事故に繋がつてしまいます。

これはこの点目に挙げた問題でも同様のことと言えます、専門性を持たないボランティアが事故を起こしてしまつたことも危惧されます。また事故を起こしてしまつと、1点目で挙げた美容ができる環境から高齢者を遠ざけることにも繋がつてしまい、これら3つの問題点はそれぞれが影響しあい、負のスパイラルとなつてまいります。

中部美容福祉協会は、以上のような問題に、真つ向から立ち向かうべく、さらに美容と福祉の融合により、介護の現場に更なる付加価値のあるサービス向上のお手伝いをすることを目的として設立いたしました。私が長年美容業界で培ってきた経験や知識を活かし、美容と福祉、その両面からアプローチする社会福祉に貢献する美容を『社会福祉ビューティーケア』と定義し、安全かつ正しくこの理論と実践に関する研究・事業・普及活動を推進している協会です。現在の日本には各福祉施設や病院、リハビリセンターなどがあ

ますが、それぞれのシステム、経営方針や内容も多種多様で、介護における美容の導入方法や位置づけも様々です。しかし色々な施設を訪問させていただくと、美容に対する関心や意識は高いと思つたことが多くありました。

理由としては、今まで当たり前のように出来ていたメイクアップやネイルケアなど、美容に関する事が様々な事情で思うように出来なくなつてしまつたが故にかえつて美容に対しての意識が高いということが一つです。またメイクアップを通じて、スキンケアや「コミュニケーションを図ることで、高齢者自身が生き生きとした表情に変化していく自分に気づくことが喜びになり、心からの笑顔を取り戻すきっかけになつてきているというのも一つです。つまり高齢者は潜在的に美容への高い意識を持っているのではないのでしょうか。

しかし、「美容」に対して高い意識はあるのに、きっかけを無くしてしまつ、美容を日常的にしなければいけない環境から、遠い位置へと追いやりられてしまい、したいのにできない、というジレンマに陥つてしまつています。また逆に「若い」といふものが、私は化粧をしても意味がない、などのように高齢者を遠ざけているのも、また現実です。

この高齢者の「美容」に対するジレンマを解消し、再び生きがいを見出し、高齢者のQOL(生活の質)の向上の手助けとなることが、当協会の使命です。例えば、メイクアップすることので得られる高齢者の意識は表面的な美しさだけではありません。精神の高揚と心身のリフレッシュにのみ内面から癒され、若々しくなること、それまで固く閉ざされていた心が開き優しい思いやりの心が芽生え、本人は勿論のこと、周りに対しても前向きになり積極性も出てきます。それが生き生きとした姿勢に繋がつていくことを実感させられます。

たかがメイクアップで生きがいにつながるのか?と思うかもしれませんが、日々の小さな「美」を通過することで得られる心の充足が、高齢者の毎日の生活と、社会生活との関わりのきっかけになり消えることのない生きがいになると私は信じています。福祉のなかにおける美容「は、これからますます増えていく高齢者の生きがいとなり、福祉との融合性により楽しんで喜びを見つけ、実践してみることが介護現場に更なる効果を生み出せるのではないのでしょうか?

このような着眼から強い想いを抱き、福祉と美容のプロフェッショナルである美容福祉士による高齢者の生きがいにつながる美容行為を『社会福祉ビューティーケア』と定義し推進しております。



では、中部美容福祉協会の重要な要素である、美容福祉士と社会福祉ビューティーケアについてご紹介いたします。美容と介護福祉の知識・技術を兼ね備えたプロフェッショナルである、美容福祉士を育成・派遣するところを出発点とし、高齢者の生きがいの創設をお手伝いさせていただいております。美容福祉士とは、介護介助を必要としている高齢者に対し、適切かつ安全に美容、リラクゼーションを施せる知識と技術を持つ者です。当協会は認定講座を開講し一定のレベルに到達した者に、美容福祉士という資格を与える資格制度を設けております。

ツチケア・タクトティールケア・シニアヨガ・シニアストレッチ・手浴・足浴・リフレクソロジー・アロマケア・フェイシャルマッサーシなどで美容と介護福祉両方の知識・技術を備えたプロフェッショナルです。

最後に活動実績の一例を説明します。右側は時事通信社様より発行されている業界誌「厚生福祉」向けに美容福祉士の活動についての取材を受けました。左側は高齢者向けのお化粧教室を主催した際のリーフレットです。活動内容の詳細については、もしも興味がある方は、左下のQRコードからアクセスしていただけること、見やすい資料をHPに上げておきます。ご確認ください。



**いはいお化粧教室**

お化粧を通して、お顔と心身の若返りをしませんか。顔、唇の紅(チーク)のお化粧方法をアドバイザーが優しく、明るく見えるコツを学びましょう。

お一人お一人に合った方法をお教えします！

顔が活性化され、明るく前向きな気になります。顔が若々しくお肌の予防にもなる注目されています。

【日時】平成26年1月28日(火) 13:30~15:00

【会場】寛政の里 1階

【講師】中部美容福祉協会

【定員】20名(先着順)

【対象者】65歳以上の方

当日は、名古屋市で行っている「障子茶室」の特別見学会も合わせて開催します。

申込み・問合せ ●同日のおハガキにてお申し込みください ●港区 西部いはい支援センター 381-3260

**厚生福祉**

美容福祉士

美容福祉士とは、高齢者の生活の質を向上させるだけでなく、認知症の予防・緩和により、超高齢社会の問題解決策の一つとなる役割が期待されています。美容福祉士は、美容福祉士の普及と社会福祉ビューティーケアの実践による高齢者のQOL(生活の質)の向上と、超高齢社会が抱える問題解決への貢献とを志しております。

「清聴あがり」といっていただきました。

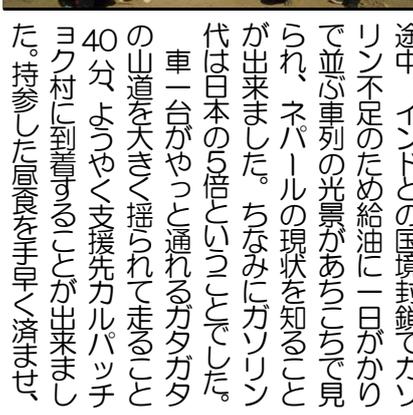
**地区国際奉仕委員会メンバーは、2015年4月25日にカトマンズ近郊で発生したマグニチュード7.8のネパール大地震で被災した山岳民族支援**

**卓話**

**「地区国際奉仕委員会報告」**

**「ネパール支援」**

堀江 英弥



地区国際奉仕委員会メンバーは、2015年4月25日にカトマンズ近郊で発生したマグニチュード7.8のネパール大地震で被災した山岳民族支援

中部美容福祉協会美容福祉士による社会福祉ビューティーケアは、高齢者のQOL(生活の質)を向上させるだけでなく、認知症の予防・緩和により、超高齢社会の問題解決策の一つとなる役割が期待されています。つまり高齢者の皆様が自分らしく老いるという自己の尊厳に対して、美容福祉士という新たなプロフェッショナルの活躍により、ダイレクトにアプローチしていくことを存在意義とします。我々、中部美容福祉協会の使命は、美容福祉士の普及と社会福祉ビューティーケアの実践による高齢者のQOL(生活の質)の向上と、超高齢社会が抱える問題解決への貢献とを志しております。

中部美容福祉協会美容福祉士による社会福祉ビューティーケアは、高齢者のQOL(生活の質)を向上させるだけでなく、認知症の予防・緩和により、超高齢社会の問題解決策の一つとなる役割が期待されています。つまり高齢者の皆様が自分らしく老いるという自己の尊厳に対して、美容福祉士という新たなプロフェッショナルの活躍により、ダイレクトにアプローチしていくことを存在意義とします。我々、中部美容福祉協会の使命は、美容福祉士の普及と社会福祉ビューティーケアの実践による高齢者のQOL(生活の質)の向上と、超高齢社会が抱える問題解決への貢献とを志しております。



1日目は現地ネパールで活躍されていく以前にもお世話になった岐阜ネパール会の筋田さんにお会いして現地の状況をお聞きしました。2日目は参加した委員会メンバー9名とAMUDの現地駐在員も加わり、早朝から四駆車3台に分乗して、雑踏と益地特有のモトググのカトマンズ市内を抜け、支援先へ向かいました。国道を走る途中、インドとの国境封鎖でガソリン不足のため給油に一日かかりで並ぶ車列の光景があたりこちで見られ、ネパールの現状を知ることが出来ました。ちなみにガソリン代は日本の5倍といことでした。車一台がやっと通れるガタガタの山道を大きく揺られて走る約40分、ようやく支援先カトルパッチヨク村に到着することが出来ました。持参した食糧を手早く済ませ

**「マンズリーレポート」**

青少年交換学生 渡辺 玄

こんにちは、渡辺玄です。ブラ



また、今回の視察に参加したメンバーからいただいた浄財で、筋田さんが支援している子供たちとカトルパッチヨク村の生徒たち、サッカーボール・縄跳びボールペンや鉛筆など文具を寄贈出来たことをご報告し、感謝いたします。

早速AMUDのメンバーと地元の人案内で2班に分かれ、視察確認作業に取り掛かりました。被災後手付かずで壊れたままの住宅が沢山点在するのを見て、我が家が寄贈したトタン板を利用して、住宅に云うには小さすぎる小屋が作ってあるのを確認して回りました。急峻な山肌にて建てられた住宅すべてを確認することは出来ませんでした。地震の被害の大きさを測り知ることができました。

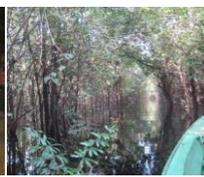


5月22日から12日まで、ロータリーの希望参加ツアーでアマゾンに行きました。初日から2日目まではPresidente Figueiredoという都市を観光しました。滝を見たり、洞窟へ行ったり、自然保護団体が運営している動物園に行きました。生まれて初めて洞窟に行き、中が意外と広いことを知りとても興味深かったです。

写真左の動物はマナティーです。アマゾンでは、大昔に行われた乱獲によって、マナティーが絶滅の危機にあるそうです。

ジルに来て10ヶ月ととうとう留學生生活も残り1ヶ月となりました。ピラシカバは、冬に入ったため1ヶ月前とは違ってとても寒いです。特に朝の冷え込みが激しく上着がなければとても外に出られません。寒さのせいなのか、最近頭痛と喉の痛みが続いています。風邪にならないよう気を付けます。

この自然保護団体では、マナティーをはじめ、亀やネズミなどアマゾンの生態系を守るために動物たちを一時的に保護し、自然に返すという活動を行っています。



動物はあまり好きではありませんが、その活動内容とても興味を惹かれました。

30日、Maratusで劇場やマーケットへ行きました。アマゾン劇場はテレビで見ただけ、行けたことがとても嬉しいです。内部は本当に豪華絢爛な作りで、とても引き付けられました。

4日目から10日目まではアマゾン川を下るボートに乗り、アマゾンの森や、インディアンの村などに行きました。全ての経験が滅多にできないことばかりです。僕も、イルカと触れ合った経験が特に印象に残



っています。

余談ですが、アマゾンの森に行くまでの道は上の写真のような文字通りの茨の道でした。小型のボートで移動している時に僕の乗っていたボートにタランチュラのような大型のクモが乗ってきました。少し危険ではありましたが、冒険心を駆り立てられてとても面白かったです。

最終日は、ピラニア釣りを行いました。しかし、これがとても難しく、僕含めほとんどの留学生が一匹も釣ることができませんでした。ピラニアを釣ることは出来ませんでしたが、その帰りにワニを見つけて、持つという貴重な経験をしました。実際にワニに触って初めて、ワニの皮はお腹の部分がかかなり固いだけでそれ以外は意

外とやわらかいことを知りました。アマゾンに行くことは子供の頃から夢だったので、今回行けたことがとても嬉しいです。先に書いたように少し危険はありましたが、それもきめてとてもいい経験になりました。もしまた行ける機会があるのなら、ピラニア釣りにリベンジしたいです。

5月13日、Festa das Naçõesという、ブラジカバ市が主催の国際イベントに行きました。このイベントは今年で33回目、ブラジカバでは毎年恒例のイベントなのだそうです。各国の食べ物やそれを食べるのが出来るというイベントで、例えるなら、名古屋で行われているワールドフードフェスティバルを若干拡大したような感じです。日本のブースもありましたが、既に閉まっていたりすることができませんでした。この国の食べ物も、本当に美味しかったです。

5月19日から22日までXX Conferencia Distritalという4310地区の地区会議に参加しました。

沿って行われていたことはわかりました。最終日には社交ダンスを行いました。初めての経験で緊張しましたが、とても楽しかったです。

加しました。地区の様々なクラブの会長、今期バナー、次期バナー、アメリカから来られたロータリーの方を交えて行われました。僕たち留学生はROTEXと共に行動し、ダンスを踊ったり、それぞれの国の国旗を運んだり、それぞれの国のプレゼントのオークションを行いました。残念ながら残念ながらこのような会議が行われていたのは聞き取ることができませんでしたが、今年度のロータリーのテーマに沿って行われていたことはわかりました。初めての経験で緊張しましたが、とても楽しかったです。

22日までXX Conferencia Distritalという4310地区の地区会議に参加しました。

沿って行われていたことはわかりました。最終日には社交ダンスを行いました。初めての経験で緊張しましたが、とても楽しかったです。

加しました。地区の様々なクラブの会長、今期バナー、次期バナー、アメリカから来られたロータリーの方を交えて行われました。僕たち留学生はROTEXと共に行動し、ダンスを踊ったり、それぞれの国の国旗を運んだり、それぞれの国のプレゼントのオークションを行いました。残念ながら残念ながらこのような会議が行われていたのは聞き取ることができませんでしたが、今年度のロータリーのテーマに沿って行われていたことはわかりました。初めての経験で緊張しましたが、とても楽しかったです。

加しました。地区の様々なクラブの会長、今期バナー、次期バナー、アメリカから来られたロータリーの方を交えて行われました。僕たち留学生はROTEXと共に行動し、ダンスを踊ったり、それぞれの国の国旗を運んだり、それぞれの国のプレゼントのオークションを行いました。残念ながら残念ながらこのような会議が行われていたのは聞き取ることができませんでしたが、今年度のロータリーのテーマに沿って行われていたことはわかりました。初めての経験で緊張しましたが、とても楽しかったです。

加しました。地区の様々なクラブの会長、今期バナー、次期バナー、アメリカから来られたロータリーの方を交えて行われました。僕たち留学生はROTEXと共に行動し、ダンスを踊ったり、それぞれの国の国旗を運んだり、それぞれの国のプレゼントのオークションを行いました。残念ながら残念ながらこのような会議が行われていたのは聞き取ることができませんでしたが、今年度のロータリーのテーマに沿って行われていたことはわかりました。初めての経験で緊張しましたが、とても楽しかったです。



ついにブラジルの生活も残すところあと一ヶ月となりました。残り一ヶ月あるだけで、できることは分かっていません。最後までこうよろしくお願いします。

### 6月23日(木)例会の案内

例会変更 同日

最終夜間例会

於名古屋東急ホテル  
3F「ルネッサンスの間」  
受付18時00分 例会18時30分

### 6月30日(木)例会の案内

定款規定により休会

### 7月7日(木)例会の案内

会長・幹事所見

会長 照井 葉さん  
幹事 林 順治さん

広報委員会

前田 隆久  
大津 伸悟・杉浦 令淑

\*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。